

どんとこい、 ピঁチ。

ガイドラインやWEBより
いい方法ないのかなあ…

えっと…あの薬
なんだっけ…?

申し訳ございません
もう在庫がなくて…



薬が
飲みにくいの
ですが…

わかりました！



同じ薬効の
薬は…?

最近の動向まで
わかってありがたい！



小児は専門外
なんだけど…



今日の 治療薬 2026 解説と 便覧



2026年1月発売

南江堂
NANKODO Since1879

編集:伊豆津 宏二/今井 靖/桑名 正隆/寺田 智祐

定価 5,500円(本体5,000円+税10%) 1,440頁 B6判 ISBN978-4-524-27338-6

Webアンケートキャンペーン

抽選で
300
名様に

抽選で300名様に『今日の治療薬』の
オリジナルビニールカバーをプレゼント！

※アンケートキャンペーンの回答締切日は2026年6月30日です。



詳しくは今日の治療薬ポータルで

今日の治療薬



www.chiryoyaku.com/book/

〒113-8410 東京都文京区本郷3丁目42番6号 営業 TEL.03-3811-7239 FAX.03-3811-7230

「今日の治療薬2026」はこんなに便利に!

添付文書の情報はもちろん、
添付文書外の情報もこれ一冊で確認できる!

コラム「適応外pick up」を新設! 2026年版 NEW!

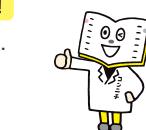
見たことのある適応外使用例の根拠や使い方がわかる。

簡易懸濁可否情報を約200成分について掲載!

同種・同効薬の使い分けがひとめでわかる!

同種薬をまとめて確認できるレイアウトはそのままに、
同種・同効薬の使い分けのポイントを追加しました。

» 同効薬インデックス (糖尿病治療薬)	
中分類	
糖尿病	特異的・非特異的* (同販) (*配合用のみ商品名)
ビラブナイト (BG)	■特に肝臓での吸収が生じる場合、高齢者では肝・腎機能を維持し、慎重投与 ホルトカミン (0.05g)
チアリジン (TZD) 鋼錠	■弱酸性のPPAR-αを介してインスリリン抵抗性を改善・ビオタケタゾン錠塗膜錠 (407錠)
スルホニル脲素 (SUs) 錠	■インスリリンの産生・分泌・過剰分泌をともに高める。安価
第二世代 (メグリジン) (407錠)	■低血糖に注意。メグリジン (408錠)
第三世代 (メグリジン) (408錠)	■インスリリンの過剰分泌を促進して食後高血糖を改善。空腹時血糖への影響が少ない。メタグリジン錠塗膜錠、リニド (408錠)、ミクニメドロジン錠塗膜錠 (409錠)、レバリド (409錠)



適応外pick up アセタゾラミド (ダイアモックス) は脳血管拡張作用と呼吸刺激作用があることから、高山病予防効果が報告されている。予防には1回125mgを1日2回、治療薬としては1回250mgを1日2回が投与される。(高山病と関連疾患の診療ガイドライン: 日本登山医学会, 2017)

31. 利尿薬 733

生理性排泄の投与を行ひ、Na再吸収による、次いでプロトコルによる、24時間の大容量静脈点滴を4時間毎に測定を補充する。中等度の脱水状態では毎日水と電解質を抑制するためにはスホスホカートの投与も行う。

適応外pick up アセタゾラミド (ダイアモックス) は脳血管拡張作用と呼吸刺激作用があることから、高山病予防効果が報告されている。予防には1回125mgを1日2回、治療薬としては1回250mgを1日2回が投与される。(高山病と関連疾患の診療ガイドライン: 日本登山医学会, 2017)

薬剤師の視点

- 利尿薬、RA系阻害薬、NSAIDsの3剤併用 (trip whammy) 時は急性腎障害の可能性が高まるため留意会合を行う。
- 炭酸脱水素酵素阻害薬やサイアザイド系利尿薬使用時に急速に摂取低下や眼痛などが認められた場合、急性近視、閉塞角角膜外、眼瞼浮腫などの可能性があるため、眼科医の診療を受けるよう患者に指導する。
- ケア・看護のポイント
- 利尿薬を投与中の患者は、毎日の尿量、飲水量、体重、血圧、尿量などの状況に注意する。
- 急速な利尿は循環血流量を縮減し、心・脳血管障害や高齢者は特に血栓塞栓症を惹起する危険がある。
- 利尿薬は医師の指示に従って必要最小限の使用にこだめ、決してやせるためなどの目的で使用しない。

同種薬比較 シタグリブチジン、ビルダグリブチジン、フチジンは中等度以上、アナグリブチジン、オマリグリブチジンは中等度以下、リナグリブチジンは胆汁排泄型、テネリジンはCmax、AUCに有意差認めず腎機能に応じた減量は:

禁注 シタグリブチジン (同販) 参照
+注 (簡懸) △ネシーナ 6.25mg・25mg錠 (要龟裂)

「新薬や最近の動向を知りたいけれど、調べる時間がない…」
そんな悩みを解決! 各領域の最新情報を5分でアップデート!

「薬物療法の最新エビデンス」や「主な新薬」を紹介!

解説冒頭に最新情報をまとめて掲載! 新規作用機序の薬もわかる!

各領域の専門家がガイドラインや最新の動向をコンパクトに解説!

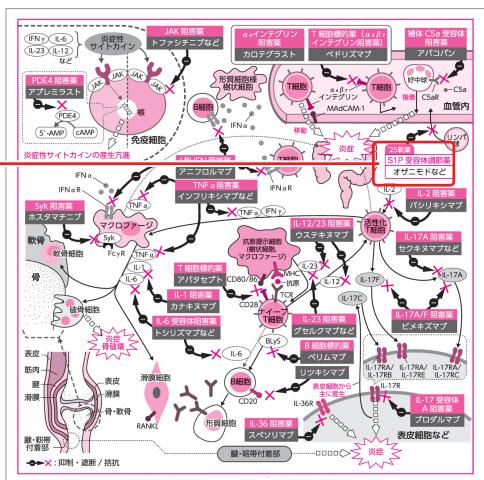
10 免疫疾患治療薬 (リウマチ、炎症性腸疾患、乾癬など)
最近の動向
・プロコロチコイド (GC) の長期投与による多くの副作用のリスクを考慮し、炎症性疾患に対する免疫抑制薬、免疫調節薬、分子標的治療薬を早期から使用することと、GCの早期使用・早期中止を目指して治療戦略が広がっている。
・開節リウマチ治療ガイドライン (2024改訂) では、患者のリスクフレームに合わせて小児から延髄硬膜炎、高齢者に応じた推奨を新たに追加している。
・2024年にアーブス腎に付いて新規ルートにてリソレセプトのロゼリソマブが承認され、腎疾患に対する新たな治療法が誕生した。山縣上野伸もひとことあること、治療の新たな選択肢になった。
・2025年にIL-23阻害薬のセルクマブに漸進性大損傷とクローネン病、ミリキマブにクローネンの適応が追加された。
・2025年に漸進性大腸炎に対して承認されたオザニモドとエトラシモドは、S1P受容体の働きを阻害することでT細胞の走行を抑制する。漸進性大腸炎においては新しい治療薬が誕生した。安価性に大きな利点ではなく、オザニモドは効果といつては効果はあるが、ミリキマブの発達性が示された (Perry-Nicole L et al. N Engl J Med 18: 213-223, 2024)。



'25新薬
S1P受容体調節薬
オザニモドなど

2025年の主な新薬 免疫抑制薬 (S1P受容体調節薬) ゼボジア (ビティ) (エトラシモド L-アルギニン/p355)

薬物療法の最新エビデンス 中等症から重症のクローアン病に対するマブの比較 (SEQUENCE 試験) : TNF α 阻害薬が無効または使用困難とウステキサマブを比較した多施設共同無作為化試験。リサンキズマブ



ご購入・ご注文は当店へ

お名前	フリガナ	通信欄
ご住所	(〒 -) フリガナ	<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先
電話	FAX	左記以外の連絡先
※「マンション名、ビル名」「~号室」もお書き添えください。		

書名

今日の治療薬2026 解説と便覧 (2026年1月発売)
ISBN978-4-524-27338-6

定価

5,500円
(本体5,000円+税10%)

冊数

小計

書店様へ ※番線を下記にご記入ください。

その他のご注文の書名